



月次運用レポート

フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式



2025年2月

## 当ファンドの魅力

### フィデリティの強み

1

#### 業界最大級の陣容

グローバル・エマージング株式運用チームは**54名**の株式調査アナリスト及びポートフォリオ・マネージャー自身が在籍し、個別企業の分析を行います。

また、世界の拠点に在籍する約**470名**のポートフォリオ・マネージャー、アナリストのリソースも活用し、地域を越えて業界や担当企業の情報を交換し、それぞれが行う調査分析の付加価値を高めています。

2

#### 優れた実績



**20年以上の運用経験**を持ち、グローバル・エマージング株式運用チームを統括しているニック・プライスが当ファンドの運用を担当します。**優良(Quality)**、**成長(Growth)**の観点で銘柄選定を行います。

世界大手会計事務所における会計士としての経験から、徹底した企業の財務分析を行い、バランスシートの健全性を重視した銘柄選択を行ないます。

継続的に優れた運用実績は、海外の個人投資家および外部評価機関や機関投資家から高く評価されています。



月次運用レポート

フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

## 銘柄選定の着眼点

### 優良(Quality)、成長(Growth)を重視

当ファンドの運用では、下記のような点に着目し、厳選して優良銘柄に投資することを目指します。

#### 経営の方向性が正しいか？

コーポレート・ガバナンス(企業統治)の健全性を重視します。先進国に比べて、株主の利益に対する考え方は未成熟な企業も存在するため、中長期的には株価にとって重要な要素と考えられます。

##### 投資しない企業の例

- ✓ 少数の株主利益を軽視する企業
- ✓ 同族で経営が行われており、経営の透明性が低い企業
- ✓ 経営陣の報酬の形態が不健全だと思われる企業

#### バランス・シートがしっかりしているか？

政情不安や規制の変化、外部環境などを受けやすい新興国企業の株式に投資するため、負債比率の低い健全な企業を選好します。また、負債比率の水準だけでなく、負債の内容を重視、負債の為替リスクも丹念に分析します。

##### 投資しない企業の例

- ✓ 負債に対して自己資本が薄く、健全性が低い企業
- ✓ 資産と負債の通貨が均衡せず、経営面に対する為替リスクの影響が大きいと考えられる企業

#### 今後、利益成長を続けていくことができるか？

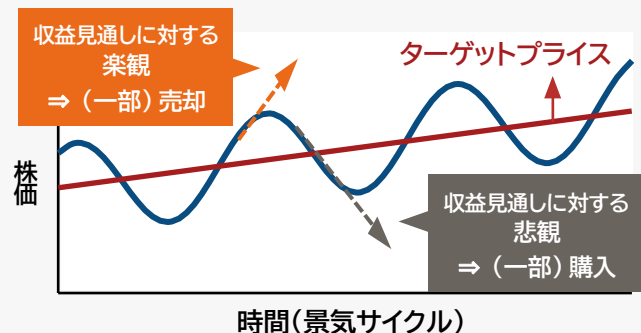
資産全体をどれだけ収益性の高い事業に投じているか、事業そのものの収益性を重視します。特に新興国企業の最大のリスクの一つは競争だと考えているため、強い差別化ポイントを持ち、過度な競争にさらされるリスクの少ない企業を選好します。

##### 投資しない企業の例

- ✓ 他社と差別化できる製品やビジネスモデルがなく、自らの価格決定力が低い企業
- ✓ フリーキャッシュフローが少ない企業
- ✓ 産業自体の成長性が低下し、収益性を高めることが難しい企業

#### 株価にどれ位反映されているか？

全ての保有銘柄 / 保有銘柄候補について、景気サイクルを通じた持続的な収益力を判断します。過去の景気サイクルを鑑みた適正なバリュエーションをもとに各銘柄にターゲット・プライスを設定し、投資比率を調整します。



## 月次運用レポート



## フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

## フィデリティ・新興国厳選株ファンドAコース(米ドル売り円買い)

設定日: 2016年6月30日

信託期間: 2016年6月30日から2026年6月22日まで

決算日: 原則として毎年6月20日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE友だち追加  
はこちらから>>>フィデリティ投信LINE  
公式アカウントでは、  
マーケットに関する情  
報をお届けしています。

## ■基準価額・純資産総額の推移

	2025/1/31	2024/12/30
基準価額	10,395 円	10,414 円
純資産総額	6.0 億円	6.1 億円
累積投資額	10,395 円	10,414 円

基準価額 (月中)	高 値	10,451 円	(1月7日)
	安 値	9,824 円	(1月14日)
基準価額 (設定来)	高 値	18,685 円	(2021年2月16日)
	安 値	8,757 円	(2020年3月24日)
累積投資額 (設定来)	高 値	18,685 円	(2021年2月16日)
	安 値	8,757 円	(2020年3月24日)

## ■累積リターン

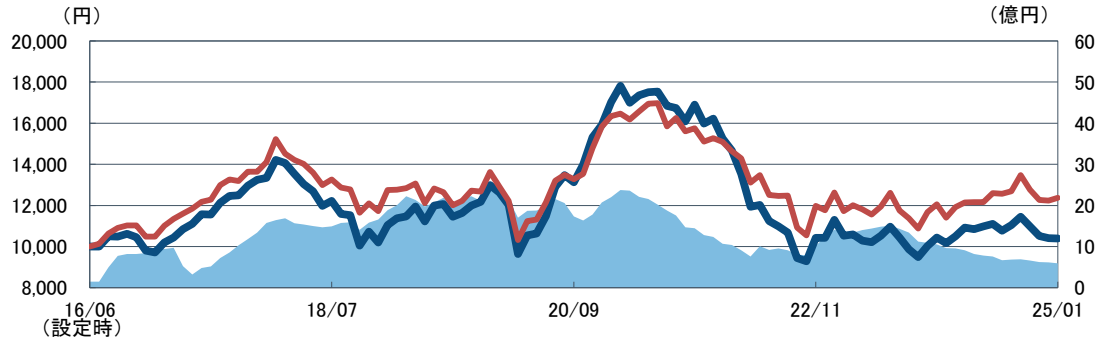
(2025年1月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.18%	-5.36%	-3.46%	2.25%	-31.84%	3.95%
参考指数	1.10%	-3.14%	-1.62%	8.40%	-18.06%	23.66%
為替レート (円/米ドル)	158.18	153.64	152.44	147.55	115.44	102.45
為替レートの変 化率	-2.37%	0.51%	1.31%	4.66%	33.78%	50.74%

## ■運用実績の推移

(2025年1月31日現在)

- 純資産総額(右軸)
- 累積投資額(左軸)
- 基準価額(左軸)
- 参考指数(左軸)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。参考指数はファンド設定日前日を10,000円として計算しています。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※参考指数として、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(米ドル売り円買い)\*を記載しています。

\*米ドルと円のための為替変動のみ部分ヘッジされており、各現地通貨と米ドルのための為替変動はヘッジされていません。

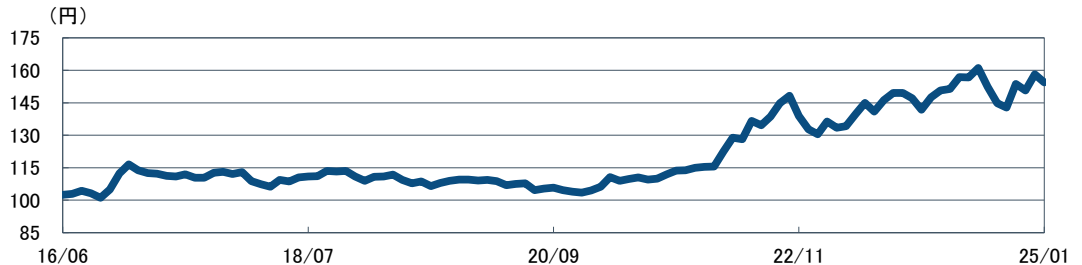
※為替レートは、TTM(三菱UFJ銀行発表対顧客電信売買相場仲値)の各月末値です。2025年1月31日の為替レートは154.43円です。

※変化率のプラスは円安を、マイナスは円高を表しています。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## ■(ご参考)円/米ドル 為替レートの推移

(2025年1月31日現在)



## 月次運用レポート



## フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

2025年2月

## フィデリティ・新興国厳選株ファンドAコース(米ドル売り円買い)

## ■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2025年1月31日現在)

決算期	日付	分配金
第3期	2019年6月20日	0円
第4期	2020年6月22日	0円
第5期	2021年6月21日	0円
第6期	2022年6月20日	0円
第7期	2023年6月20日	0円
第8期	2024年6月20日	0円
設定来累計		0円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。  
また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

## ■基準価額の月間騰落額内訳

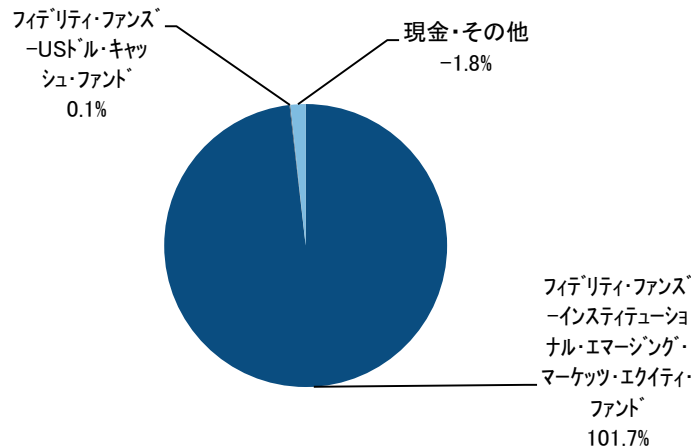
(2025年1月31日現在)

基準価額騰落額(前月比)	-19円
分配金	0円
株価変動・為替変動要因	32円
インド	( -80円 )
中国	( 28円 )
台湾	( -1円 )
南アフリカ	( -41円 )
メキシコ	( 12円 )
ブラジル	( 80円 )
インドネシア	( -13円 )
韓国	( 10円 )
カザフスタン	( 7円 )
香港	( 2円 )
ギリシャ	( 15円 )
ベトナム	( 3円 )
アラブ首長国連邦	( 5円 )
ハンガリー	( 10円 )
オランダ	( -0円 )
カナダ	( -2円 )
トルコ	( -3円 )
ペルー	( 2円 )
ポーランド	( 1円 )
その他	( -1円 )
ドル/円為替変動要因	-242円
為替ヘッジ要因	202円
現金・その他・信託報酬等	-11円

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

### ■ポートフォリオの状況

#### ◆ファンド別組入状況



(2024年12月30日現在)

(対純資産総額比率)

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

## 月次運用レポート



## フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

## フィデリティ・新興国厳選株ファンドBコース(為替ヘッジなし)

設定日: 2016年6月30日

信託期間: 2016年6月30日から2026年6月22日まで

決算日: 原則として毎年6月20日(休業日の場合は翌営業日)

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## ■ 基準価額・純資産総額の推移

	2025/1/31	2024/12/30	基準価額 (月中)	高 値	20,547 円	(1月7日)
基準価額	20,035 円	20,449 円	安 値	19,286 円	(1月14日)	
純資産総額	25.2 億円	26.4 億円	基準価額 (設定来)	高 値	22,317 円	(2024年7月11日)
累積投資額	20,035 円	20,449 円	安 値	9,658 円	(2016年7月7日)	
			累積投資額 (設定来)	高 値	22,317 円	(2024年7月11日)
			安 値	9,658 円	(2016年7月7日)	

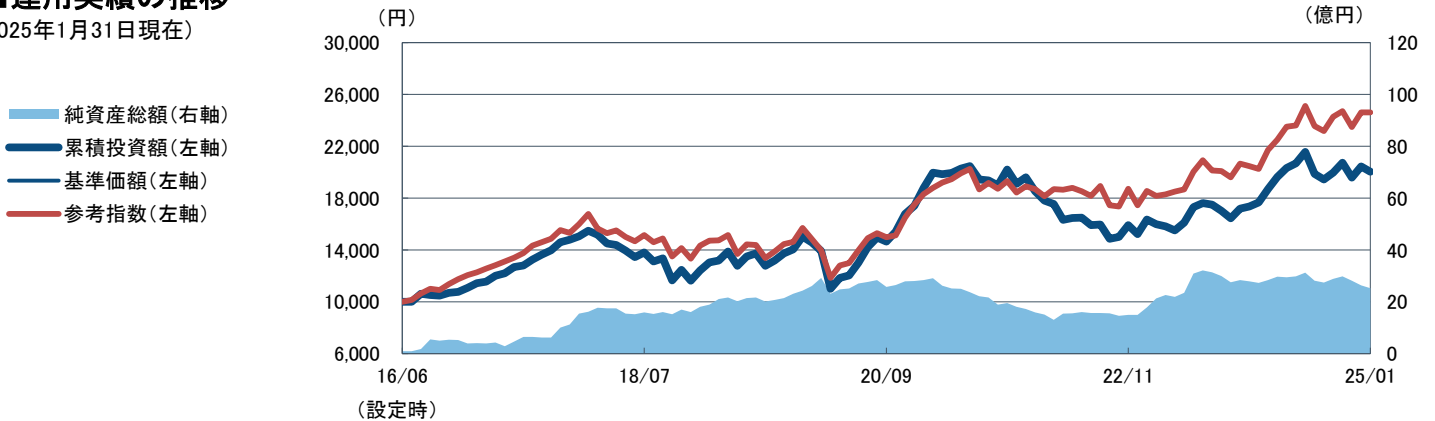
## ■ 累積リターン

(2025年1月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.02%	-3.42%	0.84%	13.39%	8.13%	100.35%
参考指数	-0.01%	-0.38%	4.46%	21.56%	31.55%	146.09%

## ■ 運用実績の推移

(2025年1月31日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。参考指数はファンド設定日前日を10,000円として計算しています。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※参考指数として、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース)を記載しています。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



## 月次運用レポート



## フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

## フィデリティ・新興国厳選株ファンドBコース(為替ヘッジなし)

## ■ 分配の推移(1万口当たり / 税引前)

(2025年1月31日現在)

決算期	日付	分配金
第3期	2019年6月20日	0円
第4期	2020年6月22日	0円
第5期	2021年6月21日	0円
第6期	2022年6月20日	0円
第7期	2023年6月20日	0円
第8期	2024年6月20日	0円
設定来累計		0円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。  
また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

## ■ 基準価額の月間騰落額内訳

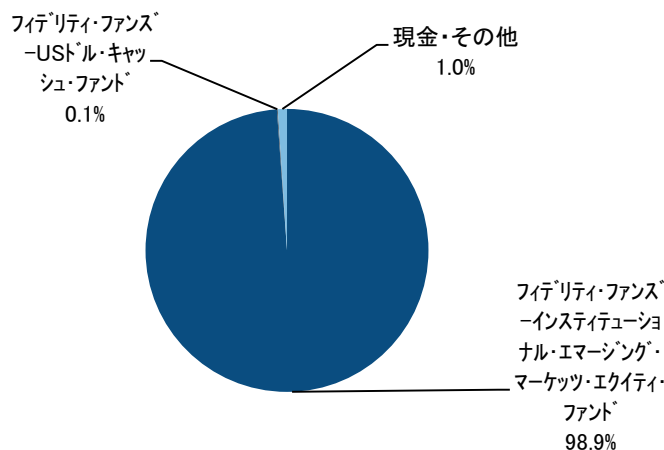
(2025年1月31日現在)

基準価額騰落額(前月比)	-414円
分配金	0円
株価変動・為替変動要因	75円
インド	( -189円 )
中国	( 67円 )
台湾	( -2円 )
南アフリカ	( -98円 )
メキシコ	( 27円 )
ブラジル	( 188円 )
インドネシア	( -31円 )
韓国	( 24円 )
カザフスタン	( 17円 )
香港	( 4円 )
ギリシャ	( 35円 )
ベトナム	( 7円 )
アラブ首長国連邦	( 12円 )
ハンガリー	( 24円 )
オランダ	( -1円 )
カナダ	( -5円 )
トルコ	( -7円 )
ペルー	( 4円 )
ポーランド	( 1円 )
その他	( -2円 )
ドル/円為替変動要因	-470円
現金・その他・信託報酬等	-19円

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

### ■ ポートフォリオの状況

#### ◆ ファンド別組入状況



(2024年12月30日現在)

(対純資産総額比率)

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

## 月次運用レポート



## フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

## 主な投資対象ファンドの運用状況

## ■フィデリティ・ファンズー・インスティテューショナル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド

(2024年12月末現在)

## ◆資産別組入状況

株式	97.9%
現金・その他	2.1%

## ◆国・地域別組入状況

	ファンド	参考指数
インド	21.3%	19.4%
中国	15.8%	27.8%
台湾	12.8%	19.7%
南アフリカ	12.6%	2.9%
メキシコ	6.7%	1.8%
ブラジル	4.8%	4.1%
インドネシア	4.7%	1.5%
カザフスタン	4.1%	0.0%
韓国	3.4%	9.0%
香港	2.9%	0.0%
その他	8.8%	13.9%
現金・その他	2.1%	-

## ◆通貨別組入状況

	ファンド	参考指数
インド・ルピー	16.0%	19.4%
香港・ドル	14.8%	16.5%
台湾・ドル	12.8%	19.7%
南アフリカ・ランド	12.6%	2.9%
アメリカ・ドル	9.3%	1.0%
メキシコ・ペソ	6.7%	1.8%
インドネシア・ルピア	4.7%	1.5%
カザフスタン・テンゲ	4.1%	0.0%
韓国・ウォン	3.4%	9.0%
中国・元	2.6%	10.9%
その他	12.9%	17.2%

## ◆業種別組入状況

	ファンド	参考指数
金融	29.6%	23.7%
一般消費財・サービス	25.8%	13.1%
情報技術	20.4%	24.3%
資本財・サービス	7.0%	6.6%
生活必需品	6.4%	4.8%
素材	4.5%	5.7%
コミュニケーション・サービス	1.6%	9.4%
不動産	1.3%	1.7%
ヘルスケア	1.2%	3.4%
エネルギー	0.0%	4.6%
公益事業	0.0%	2.7%

(対純資産総額比率)

※参考指数として、ファンドの投資対象ファンド「フィデリティ・ファンズー・インスティテューショナル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド」のインデックスであるMSCI エマージング・マーケット・インデックスを記載しています。

## &lt;参考指数について&gt;

※MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、新興国を投資対象とするグローバル株式のパフォーマンス測定を目的とする時価総額加重指数です。MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

フィデリティ・新興国厳選株ファンド  
Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)  
追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

(2024年12月末現在)

## ◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 68)

	銘柄	国・地域	業種	比率	会社概要
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MFG CO LTD	台湾	情報技術	10.0%	半導体メーカー。同社IC(集積回路)は消費者向け電子製品などに使用される。
2	NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	8.0%	新興国等の様々なオンラインサービス会社やメディア企業を保有。
3	MAKEMYTRIP LIMITED	インド	一般消費財・サービス	5.2%	インドを拠点にインターネット旅行予約プラットフォームを手掛ける企業。
4	ICICI BANK LTD	インド	金融	4.9%	インドの民間銀行大手。個人・企業向け銀行サービス等を提供。
5	HDFC BANK LTD	インド	金融	4.8%	グローバルな企業に多岐にわたる金融サービスを提供する商業銀行。
6	KASPI/KZ JSC	カザフスタン	金融	4.1%	キャッシュレス決済、個人向け金融サービス等を提供するフィンテック企業。
7	GRUPO MEXICO SAB DE CV	メキシコ	素材	3.2%	鉱山会社。銅などの資源を採掘・精錬・販売する。鉄道インフラ事業にも従事。
8	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	3.0%	半導体、携帯電話、液晶テレビなどを製造する電子機器メーカー。
9	BANK CENTRAL ASIA TBK PT	インドネシア	金融	2.9%	インドネシアに幅広い拠点網を有し、個人・企業向け銀行サービス等を提供。
10	TRIP.COM GROUP LTD	中国	一般消費財・サービス	2.5%	中国を拠点とし、オンライン旅行予約プラットフォームを展開。

上位10銘柄合計 48.6%

(対純資産総額比率)

※当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

※概要は記載時点のものです。今後予告なく変更される可能性があります。また銘柄の売買を推奨、または今後の業績を示唆・保証するものではありません。

※フィデリティ・ファンズ・インスティテューショナル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。

※当ファンドの管理事務代行会社の提供するデータに基づき作成しております。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。



月次運用レポート



フィデリティ・新興国厳選株ファンド

Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

2025年2月

■コメント

◆市場概況

(2025年1月31日現在)

新興国株式は、MSCIエマージング・マーケット・インデックスの月間騰落率で+1.62%。アジアの新興国株式は+0.88%。東欧・中東・アフリカの新興国株式は+4.09%。ラテンアメリカの新興国株式は+5.91%。

【アジア】MSCI AC ファー・イースト・インデックス(除く日本)の月間騰落率は+1.79%。米トランプ大統領の政策不確実性が市場の重石となった一方で、当局による追加の景気刺激策への期待が市場の追い風となり、上昇しました。香港株式相場は米中対立に対する懸念が根強く残る一方、中国当局による政策支援に対する期待が株式市場を下支えし、一進一退の推移となりました。

【南アフリカ】MSCI南アフリカ・インデックスの月間騰落率は+4.20%となりました。月上旬は、原油高が南アフリカのインフレに繋がるリスクが懸念され、株価は下落しました。その後、米国で物価関連の経済指標が鈍化したことで、投資家心理が改善し、株価は反発しました。月下旬は、米国の利下げペースが鈍化するととの過度な警戒感が後退する中、南アフリカ株は上昇しました。

【ロシア】MSCI ロシア・インデックスの月間騰落率は0%となりました。指数算出会社のMSCIは2022年3月に実質的にゼロとなる価格で取り扱うことを発表しました。

【インド】MSCIインド・インデックスの月間騰落率は-2.40%。米国の物価関連の経済指標が鈍化した場面で上昇したものの、インド経済の先行きが懸念され下落しました。

【為替】南アフリカランド / 円相場は約0.41%の円高(1ランド=8,3286円→8,2941円)。人民元 / 円相場は約1.00%の円高(1人民元=21,531円→21,316円)。ルピー / 円相場は、約2.61%の円高(1ルピー=1,836円→1,788円)。香港ドル / 円相場は、約1.77%の円高(1香港ドル=20,232円→19,874円)。

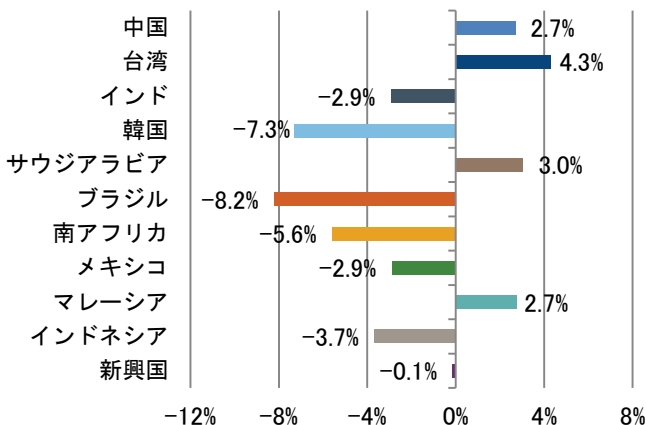
(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

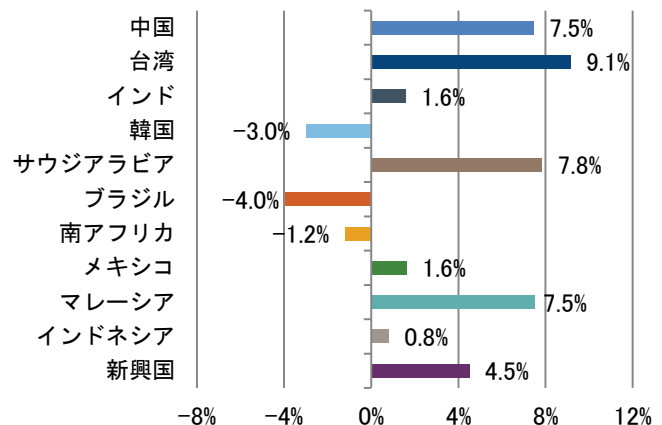
(ご参考) 主な新興国株式の月間騰落率

(2024年12月末現在)

■米ドルベース



■円ベース



※MSCI エマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース) 指数および構成する主要10ヶ国・地域の指数の騰落率です。

※MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース) 指数および構成する主要10ヶ国・地域の指数の騰落率です。

出所: Rimes

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日異なる場合があります。概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。

# フィデリティ・新興国厳選株ファンド

## Aコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

## ファンドの特色

- 1 主として、以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行いません。なお、短期金融商品に直接投資を行なう場合があります。
  - フィデリティ・ファンズ・インスティテューショナル・エマージング・マーケット・エクイティ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)
  - フィデリティ・ファンズ・USDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)
- 2 投資信託証券への投資を通じて、実質的に新興国企業の株式等へ投資を行いません。
- 3 Aコース(米ドル売り円買い)は、実質組入外貨建資産については、原則として米ドル売り円買いの為替予約取引等を行いません。Bコース(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なう投資対象ファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

### 主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	Aコース(米ドル売り円買い)は、ファンドの純資産総額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことにより、円と米ドルとの間の為替変動リスクの低減を図りますが、完全に為替変動リスクを排除できるものではありません。また、実質的な組入れ対象となる新興国株式の通貨と米ドルとの間の為替変動リスクについてはヘッジされていません。したがって、投資する新興国株式の通貨が米ドルに対して安くなった場合(米ドル高／新興国株式通貨安になった場合)には、基準価額が下落する要因となります。なお、米ドル売り円買いによる為替ヘッジを行なう際に、円の金利が米ドルの金利より低い場合には、米ドルと円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。Bコース(為替ヘッジなし)は為替ヘッジを行なわないため、外貨建の有価証券等に投資を行なう場合には、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

クーリング・オフ	ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
流動性リスク	ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。
分配金に関する留意点	分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

# フィデリティ・新興国厳選株ファンド

## Aコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

### お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細 についての照会先	委託会社	フィデリティ投信株式会社
	インターネットホームページ	<a href="https://www.fidelity.co.jp/">https://www.fidelity.co.jp/</a>
	電話番号	0570-051-104 (受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)
	上記または販売会社までお問い合わせください。	
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
購入代金	販売会社が定める期日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受けたもの <sup>(注)</sup> を、当日のお申込み受付分とします。 (注)2024年11月5日以降は、「午後3時30分までに、販売会社所定の事務手続きが完了したもの」となります。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。	
購入・換金申込不可日	12月25日においては、お申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	2016年6月30日(設定日)から2026年6月22日まで	
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎年6月20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。	
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないません。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。	
スイッチング	販売会社によっては、Aコース(米ドル売り円買い)、Bコース(為替ヘッジなし)間にてスイッチングが可能です。スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に税金がかかります。 ※スイッチングの取扱い内容等について、詳しくは、販売会社へお問い合わせください。	

### ファンドの費用・税金

購入時手数料	<b>3.30%(税抜3.00%)</b> を上限として販売会社が定めます。 ※詳しくは、お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
スイッチング手数料	販売会社によってはスイッチング手数料がかかる場合があります。詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、年0.9779%(税抜0.889%)の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
投資対象とする投資信託証券*	年率0.80%(税抜)程度
実質的な負担*	<b>年率1.7779%(税込)程度</b>

# フィデリティ・新興国厳選株ファンド

## Aコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

<p>その他費用・手数料</p>	<p>組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。</p> <p>法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。</p>
<p>税金</p>	<p>原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。</p> <p>税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。</p>

\*投資対象ファンドの変更等により将来的に変動することがあります。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他の関係法人

<p>委託会社</p>	<p>フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会</p>
<p>受託会社</p>	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社</p>
<p>販売会社</p>	<p>販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス:<a href="https://www.fidelity.co.jp">https://www.fidelity.co.jp</a>)をご参照ください。</p>

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・新興国厳選株ファンドAコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし)」が主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として海外株式および海外債券等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた株式、債券およびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた株式、債券およびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

**■フィデリティ・新興国厳選株ファンド Aコース(米ドル売り円買い)／Bコース(為替ヘッジなし) 販売会社情報一覧(順不同)**

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○	
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○		○
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
株式会社第四北越銀行*	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

\*新興国厳選株Bのみのお取扱いとなります。

\* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。  
販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

CSIS240330-46